



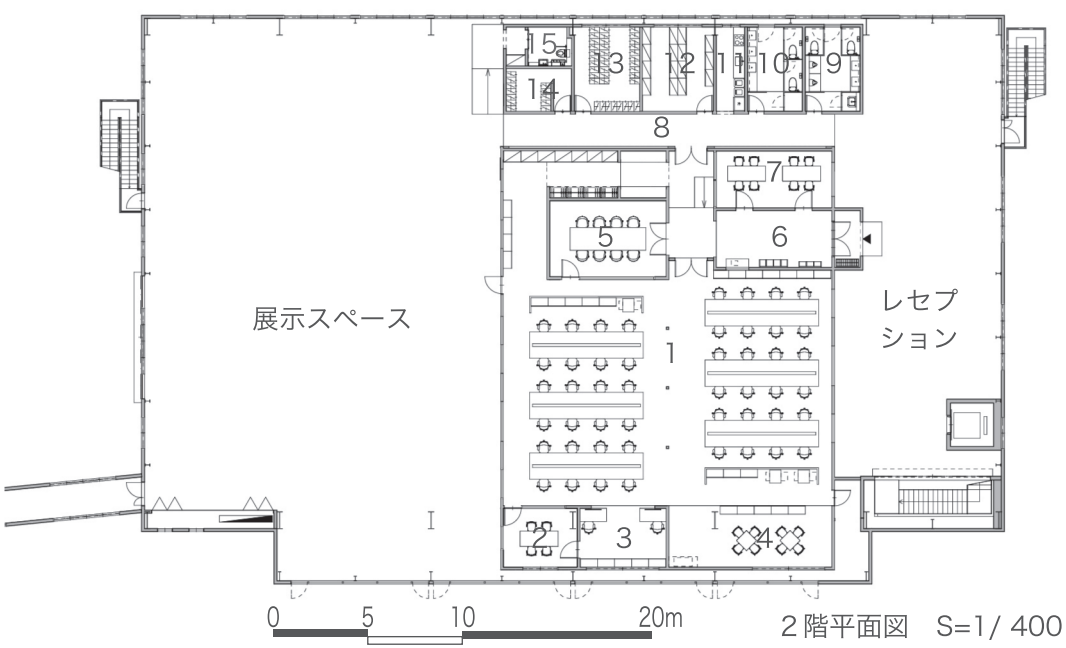
木箱をモチーフとしシナ合板でデザインされたファサード



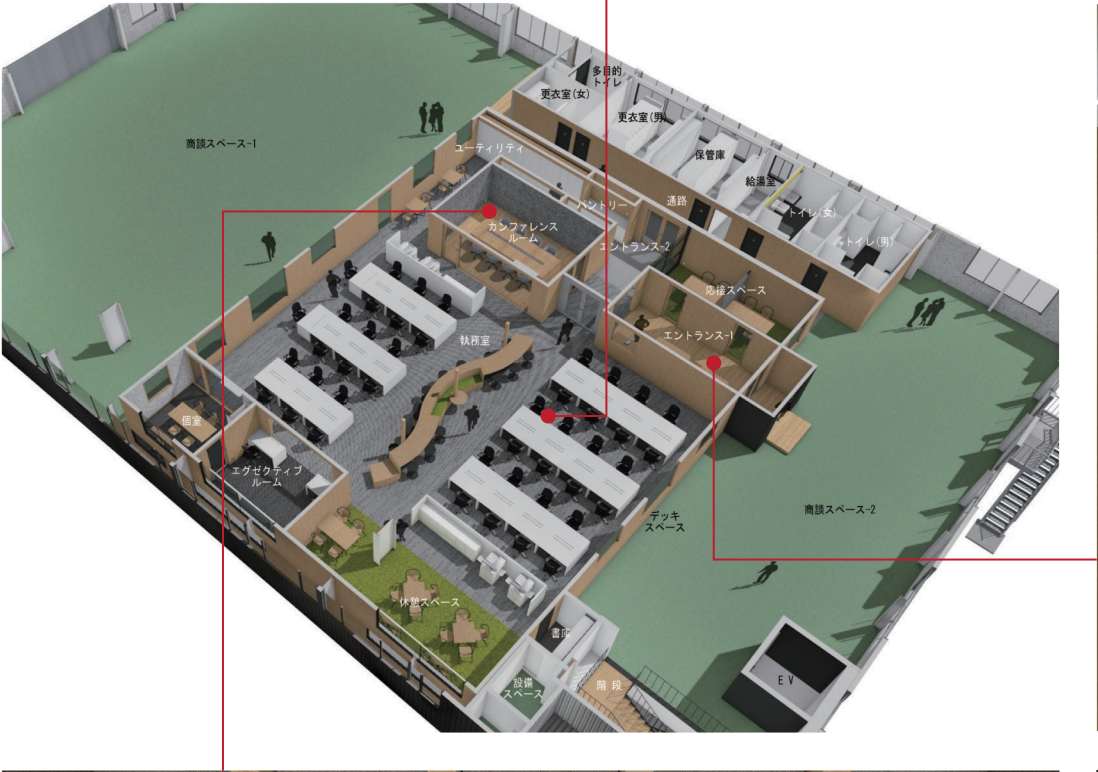
張弦トラスにより広く開放的な執務空間を実現



リノベーション前の工場内



- | | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 1. 執務室 | 6. エントランス | 11. 給湯室 |
| 2. 会議室 | 7. 応接スペース | 12. 保管庫 |
| 3. 役員室 | 8. トンネル空間 | 13. 更衣室 (男子) |
| 4. 休憩スペース | 9. トイレ (男子) | 14. 更衣室 (女子) |
| 5. カンファレンスルーム | 10. トイレ (女子) | 15. 多目的トイレ |



木質系素材で迎え入れるオフィスエントランス

■工場からオフィスへのリノベーション

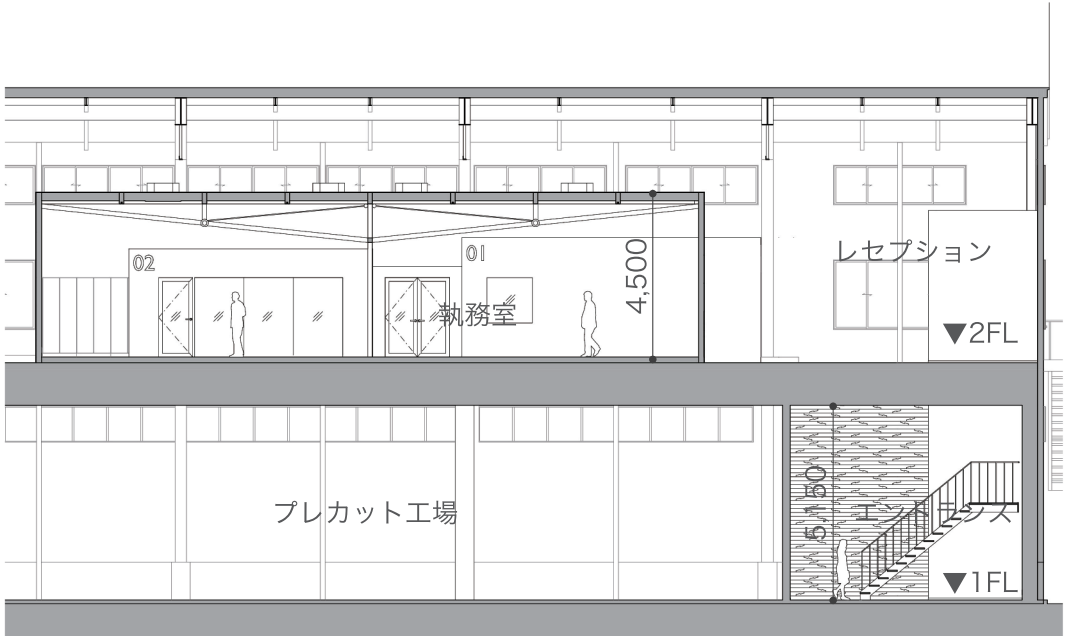
富山県高岡市にあるウッディパーツというプレカット工場の2階に、席数50席のオフィスや会議室を作り、1階の一部をエントランスとして改修したリノベーションプロジェクトである。「木」を扱う会社のオフィスであることから、オフィス自体が「木のミュージアム」となることをコンセプトとし、ありとあらゆるところに木質素材を使用することで、会社のイメージに相応しい木に包まれた空間となっている。

■スケルトン・インフィルデザイン

1階が吹きさらしの工場のため、2階屋内の温度は外部とほぼ変わらず、夏は暑く冬はとても寒い執務環境となることが予想された。そこで既存の工場空間にオフィス機能の入る木の箱を挿入するスケルトン・インフィルデザインを採用した。木箱のデザインは会社のアイデンティティとして機能するのみならず、視覚的な暖かさや癒やしの効果ももたしている。

■一般流通材による張弦構造を実現

構造には張弦トラスを採用し、385㎡のモノスペースをわずか7本の柱で支える広々としたオフィススペースを実現している。また構造材には一般流通材である集成材や角材を使用し、工期の短縮ならびに徹底したコストの削減を実現した。当然のことながら、材の調達及びプレカットはウッディパーツの工場で行われ、いまでは動く空間が自分たちの手がける製品のサンプルとなっている。



断面図 S=1/200



木毛セメント板で構成されたカンファレンスルーム



オフィス来訪者のレセプションスペース